城端線・氷見線利用実態調査について

城端線・氷見線利用者の乗車目的・乗車形態・乗車区間など、現在の利用実態を把握するため、全駅において乗降者数カウント調査を行うとともに、沿線住民へのアンケート調査を実施した。

1 乗降カウント調査

(1) 調査日 平日:平成30年9月20日(木) 休日:平成30年10月28日(日)

(2) 対象 J R 城端線、氷見線の全列車を対象に、城端線の各駅(高岡駅〜城端駅)及び氷見線の 各駅(高岡駅〜氷見駅)において、運行列車の便別に乗車人数、降車人数をカウント。

路線名	⋿ □ 米/-	便数		
	駅数	上り	下り	
城端線	14 駅	22 便	21 便	
氷見線	8駅	19 便	18 便	

2 乗降カウント調査の結果

年間乗車人数の推計値を365日で除して1日あたりの乗車人数を算出した。

推計の結果、城端線の1日あたりの乗車人数は、7,204人、氷見線では1日あたり4,933人となる。このうち、高岡駅を除く乗車人数は、城端線で1日あたり4,680人、氷見線では1日あたり2,962人である。昨年度調査と比較すると、駅によって増減はあるが、城端線、氷見線とも微増となった。

1日当たり乗車人数の推計値

(人/日)

	(人/日)			
線 名	駅 名	平成 30 年	平成 29 年	H30/H29
	高岡駅(城端線)	2,524	2,384	1.06
	新高岡駅	493	524	0.94
	二塚	42	35	1.20
	林	29	28	1.04
	戸出	795	799	0.99
	油田	389	347	1.12
	砺波	1,168	1,072	1.09
城端線	東野尻	132	143	0.92
	高儀	76	113	0.67
	福野	657	612	1.07
	東石黒	35	45	0.78
	福光	502	526	0.95
	越中山田	66	54	1.22
	城端	296	264	1.12
	城端線合計	7,204	6,946	1.04
氷見線	高岡駅(氷見線)	1,971	1,909	1.03
	越中中川	1,135	1,101	1.03
	能町	157	145	1.08
	伏木	226	214	1.06
	越中国分	343	314	1.09
	雨晴	78	90	0.87
	島尾	207	199	1.04
	氷見	816	805	1.01
	氷見線合計	4,933	4,777	1.03
全体		12,137	11,723	1.04

3 アンケート調査結果

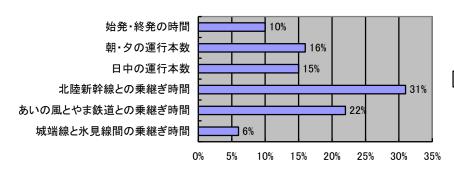
沿線住民に対して、城端線・氷見線の運行及び利用意向等に関するアンケートを実施した。

- (1) 調査期間 平成31年2月5日(火)から調査票を配布し、平成31年2月27日(水)までの回収分
- (2) 対象 沿線住民 (駅から半径 2 km 圏内の 16 歳以上の男女 (外国人除く)) 無作為抽出 2,500 人

而コ <i>士</i> -米/-	回収数		同山本	参考		
	配布数	男性	女性	合計	回収率	H29 回収率
氷見市	500	78	102	180	36.0%	28.2%
高岡市	1,000	175	230	405	40.5%	34.4%
砺波市	500	88	132	220	44.0%	38.6%
南砺市	500	115	159	274	54.8%	48.8%
計	2, 500	456	623	1,079	43.2%	36.9%

①城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点(複数回答)

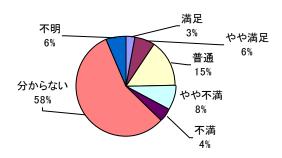
城端線・氷見線の運行について、最も改善してほしい点の回答割合をみると、「北陸新幹線との乗継ぎ時間」(31%)が最も高く、次いで「あいの風とやま鉄道との乗継ぎ時間」(22%)、「朝・夕の運行本数」(16%)、「日中の運行本数」(15%)の順である。乗継ぎ時間に関する改善の回答割合が高い。



■最も改善してほしい点(複数回答)

②城端線の運行本数に関する満足度

増便試行運行を実施している城端線の運行本数の満足度については、「わからない」が 58%存在し、次いで、「普通」(15%)、「やや不満」(8%)の順に高くなっている。「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、約10%であった。回答比率は、H29調査と大きな違いはない。



③城端線・氷見線に交通系 IC カードが導入された際の利用意志

城端線・氷見線に交通系 IC カードが導入された際の利用意志に関しては、「分からない」が30%存在するものの、「切符を購入する必要が無く便利なので利用したい」(27%)、「鉄道以外でも活用できるなら利用してもよい」(23%)と利用に前向きな回答がH29調査から4%増え、50%となった。

